

# 香川県の地震

2021年6月

## 香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1
香川県の地震表（震度1以上）	・・・	2
震度分布図	・・・	2

## 南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会 (注)

評価検討会調査結果（令和3年7月7日）	・・・	3
---------------------	-----	---

(注) 直近に開催された評価検討会の調査結果を掲載します。

## 地震一口メモ

南海トラフ地震では香川県でも甚大な被害が発生する 可能性があります	・・・	4
--------------------------------------	-----	---

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

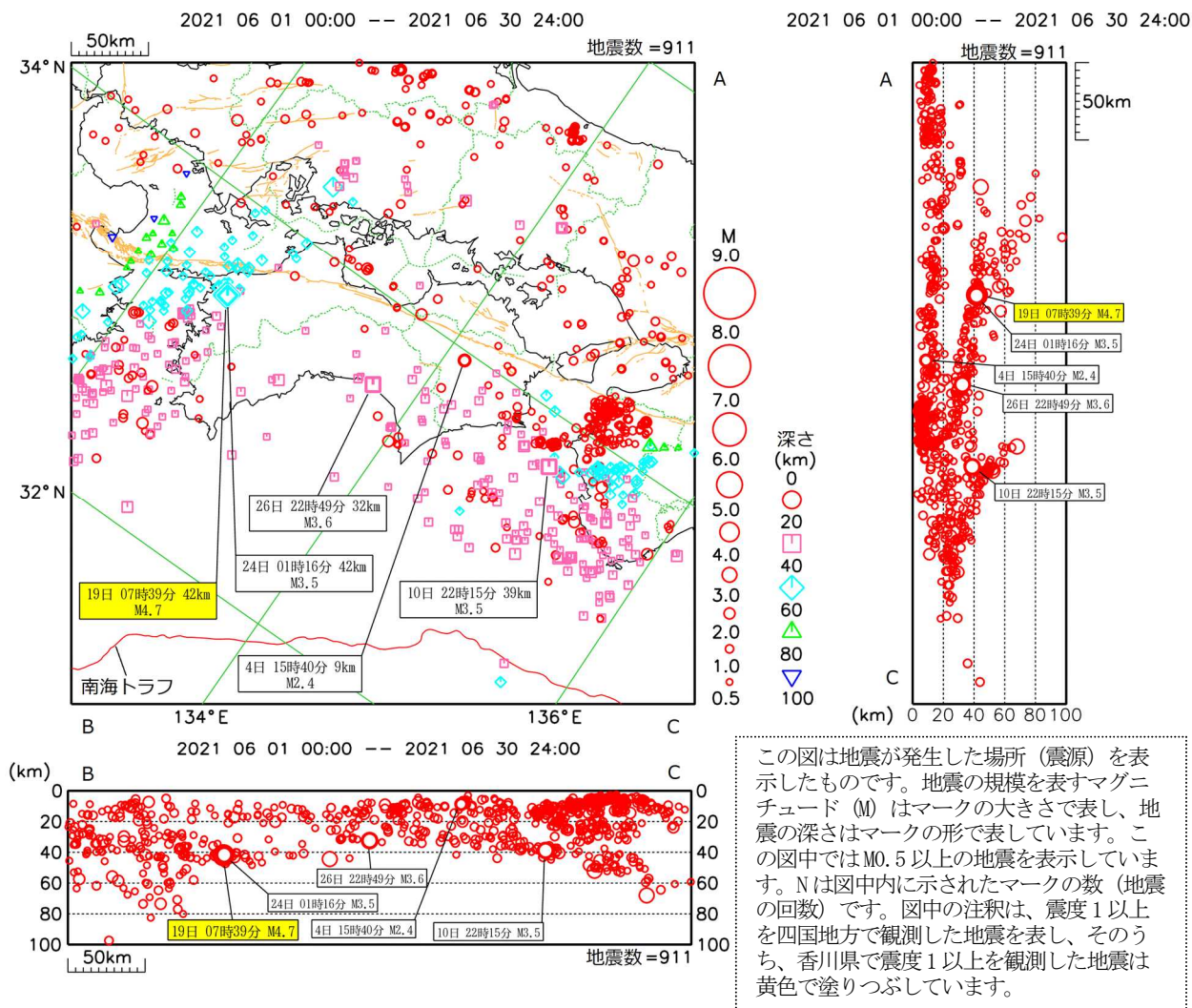
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

# 【香川県の地震活動】

2021年6月

## ◎震央分布図、断面図



## ◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした(前月は2回)。

19日07時39分 愛媛県南予の地震(深さ42km, M4.7)により、高松市・東かがわ市・さぬき市・丸亀市・観音寺市・三豊市・土庄町・宇多津町・琴平町・多度津町・綾川町で震度1を観測しました。この地震では、愛媛県宇和島市で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度3~1を観測しました。

四国内で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の4回でした。

4日15時40分 徳島県北部の地震(深さ9km, M2.4)により、徳島県美馬市で震度1を観測しました。

10日22時15分 紀伊水道の地震(深さ39km, M3.5)により、和歌山県御坊市・田辺市・由良町・みなべ町・日高川町・紀美野町、徳島県阿南市・那賀町・美波町で震度1を観測しました。

24日01時16分 愛媛県南予の地震(深さ42km, M3.5)により、愛媛県西条市・伊予市・大洲市・西予市・久万高原町・内子町・松野町、高知県宿毛市で震度1を観測しました。

26日22時49分 土佐湾の地震(深さ32km, M3.6)により、愛媛県今治市・西条市・東温市、高知県安芸市で震度1を観測しました。

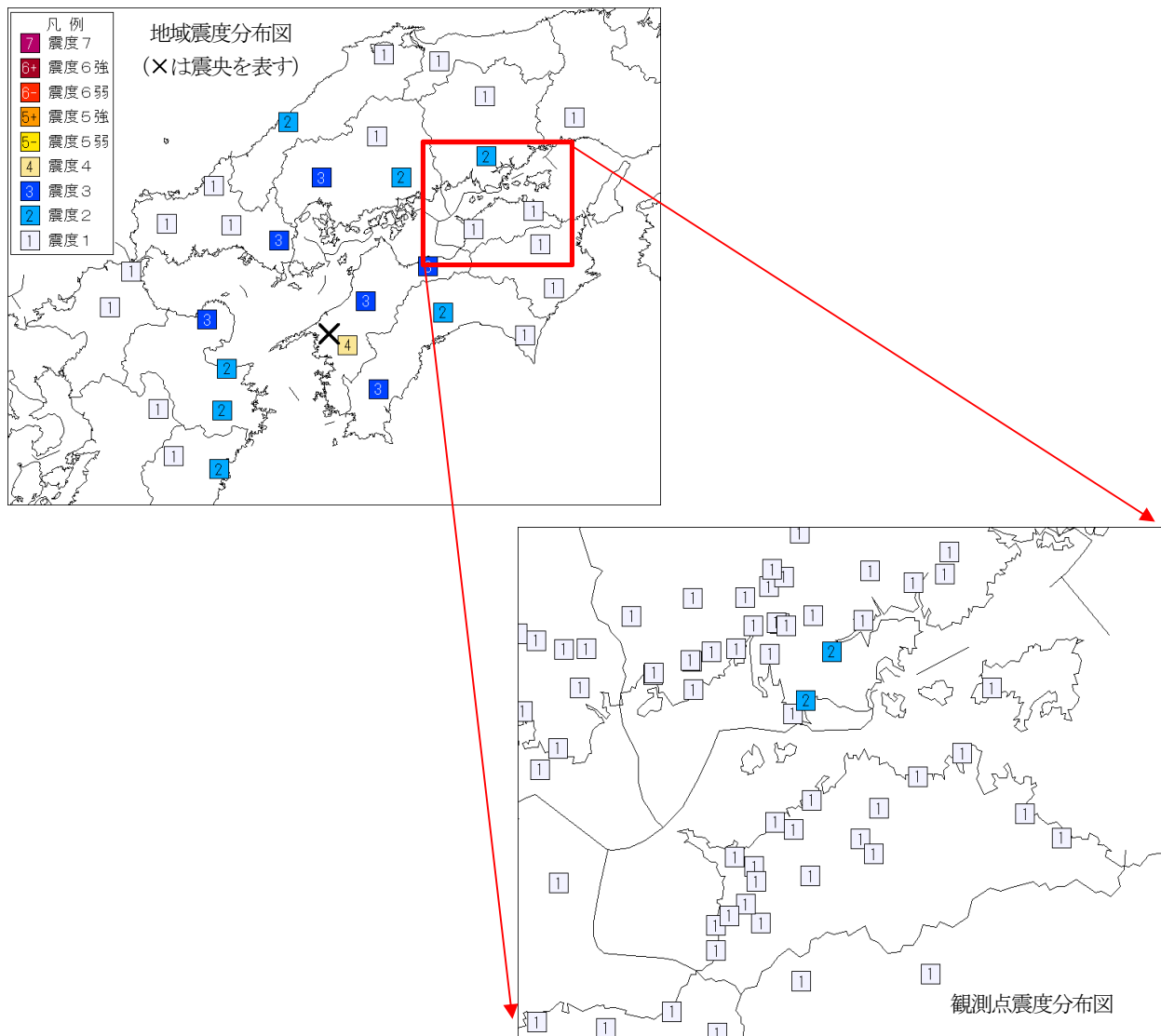
## ◎香川県の地震表（震度 1 以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2021年06月19日07時39分 香川県	愛媛県南予	33° 27.6' N	132° 30.8' E	42km	M4.7
震度 1：高松市扇町＊, 高松市庵治町＊, 高松市国分寺町＊, 東かがわ市西村, さぬき市津田町＊, 丸亀市新田町＊, 観音寺市坂本町, 観音寺市瀬戸町＊, 観音寺市豊浜町＊, 三豊市豊中町＊, 三豊市山本町＊, 三豊市高瀬町＊, 三豊市詫間町＊, 三豊市三野町＊, 土庄町甲, 宇多津町役場＊, 琴平町榎井＊, 多度津町家中, 綾川町山田下＊, 綾川町滝宮＊					

＊は気象庁以外の震度観測点

## ◎震度分布図

2021年06月19日07時39分 愛媛県南予の地震



## 【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

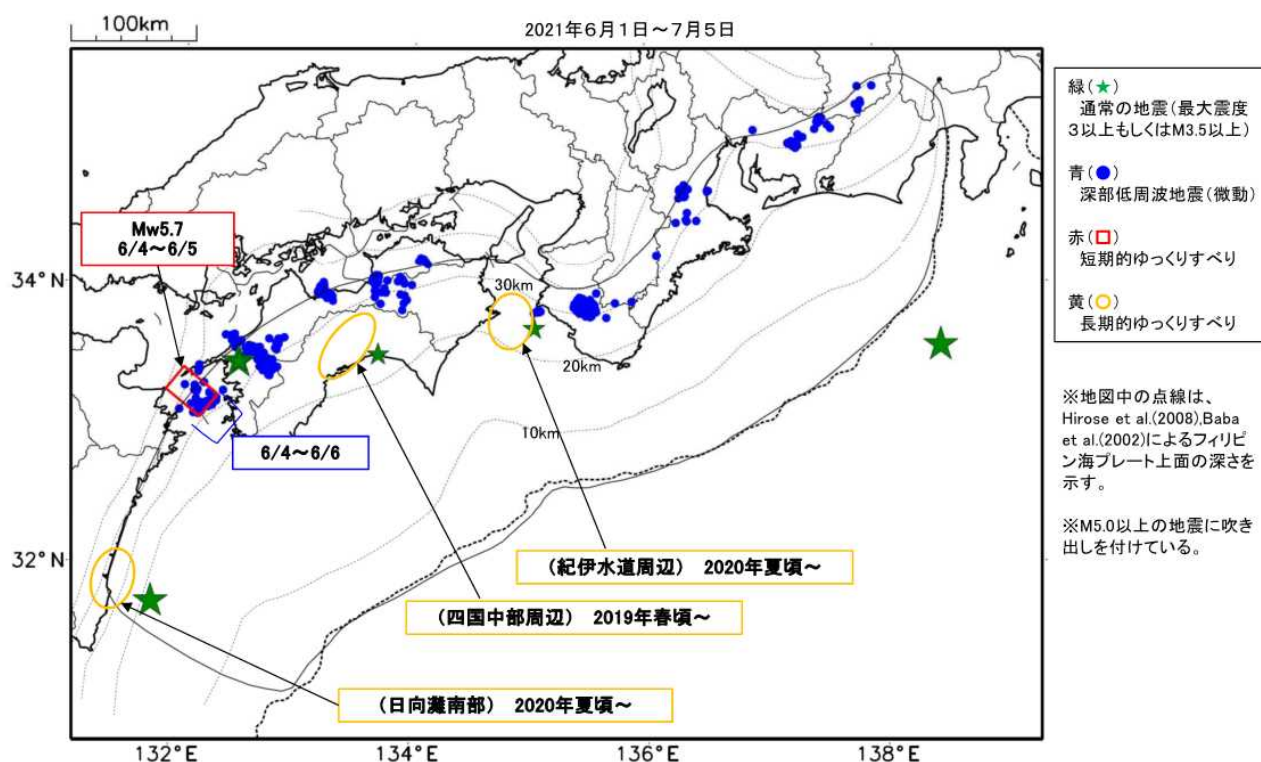
気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

令和3年7月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

### 【調査結果（概要）】

南海トラフ地震の想定震源域では、プレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

### 【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。  
短期的ゆっくりすべり.....【四国西部】気象庁の解析結果による。  
長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、紀伊水道周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2107/07a/nt20210707.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

# 【地震一口メモ】

## 南海トラフ地震では香川県でも甚大な被害が発生する可能性があります

南海トラフ沿いでは繰り返し大地震が発生して来ましたが、これらの地震は海溝型地震と呼ばれ、陸域の地震と比べて規模が大きい特徴があり、香川県でも地震動や津波の影響を受けます。今月は南海トラフ沿いで発生した地震の中でも最大クラスの「宝永地震」の時の香川県内の被害を振り返ります。

### 「宝永地震」

宝永地震は、今から300年程前、1707年10月28日、旧暦では宝永四年十月四日の午後2時頃、遠州灘から四国までの沖合を震源として発生した。死者は5千人以上、負傷者1,300人以上、全壊家屋5万軒以上、流失家屋2万軒近くにも及んだ。実際の被害はこれより数割は多い可能性がある。高松では震度6の地震動に見舞われている。宝永地震による人的被害は、高松で死者29人。香川県は津波記録がほとんど残されておらず、香川県の津波の記録は、1707年の宝永地震、1854年の安政南海地震および1946年の昭和南海地震の記録しか見当たらない。宝永津波については、高松藩の公文書記録（香川叢書二く続讃岐国大日記）、翁姫夜話巻之一下、消暑漫筆四（東京大学地震研究所編、1983）によると、高松では、「高潮来り平地之上六尺、御城下人家多破壊し、人馬死者多し」とあり、この津波で1.8m浸水したことがわかる。

出典：『災害教訓の継承に関する専門調査会報告書 1707 宝永地震 第1章 宝永地震の地震像・第2章 宝永地震による被害とその後・第3章 各地の津波被害』

（内閣府ホームページ 災害史・事例集）

[http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/kyoukunnokeishou/rep/1707\\_houeiishin/index.html](http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/kyoukunnokeishou/rep/1707_houeiishin/index.html)

### 香川県では八栗寺の背面にある「五剣山」の1峰が崩落

香川県高松市にある四国霊場第85番目札所、八栗寺の背面にはもともと5つの峰が立ち並んでいたため「五剣山」と名付けられた山があります。『先人の教えに学ぶ四国防災八十八話』（国土交通省四国地方整備局、2008）第八十一話八栗の峯くずれる』によると、宝永地震の時に八栗寺から見て東端の峰が崩れ、今では「四剣山」になっており、峰が崩れ落ちた時の音は、約20キロメートル余り離れたところまで聞こえたと言われます。

政府の地震調査研究推進本部の長期評価で、今後30年間に70%～80%の高い確率で発生すると言われる南海トラフ地震では、その地震動により、香川県でもこのような甚大な被害が発生する可能性があります。

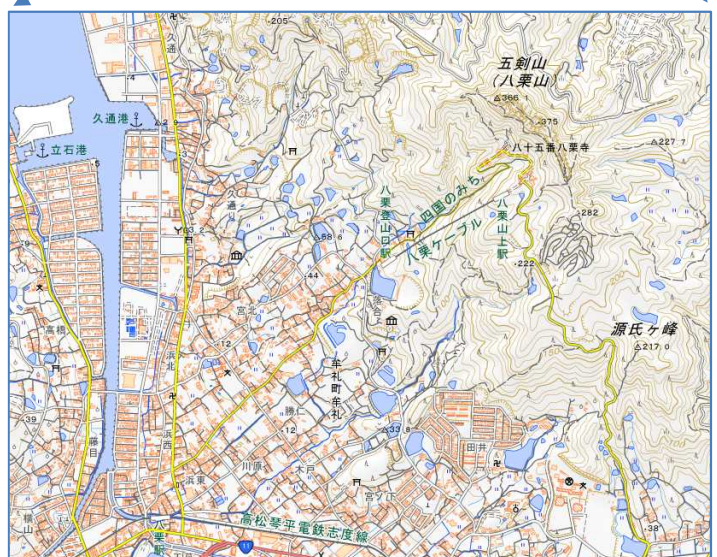
出典：『先人の教えに学ぶ四国防災八十八話』（国土交通省四国地方整備局、2008）第八十一話八栗の峯くずれる』



「五剣山」の写真

出典：『四国ケーブルホームページ、ギャラリー』

<http://www.shikoku-cable.co.jp/yakuri/gallery.html>



「五剣山」の所在地（地図は地理院地図を使用）